令和3年度 事業報告

令和3年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症への対応について、本部と各施設が行政通知等の情報を共有しながら、衛生管理等の感染防止対策を徹底し事業の継続に取り組んだ。

高齢者施設の収支健全化や人材確保等の重要課題について、事業別部会及びプロジェクトチームを発足し改善に向け重点的に検討を行った。

また、高齢者施設において利用者への虐待事案が発生し、その再発防止に万全を期した。

令和3年度における法人及び施設の運営全般については、新型コロナウイルス感染症の影響による施設運営全般への支障及び高齢者施設の収支赤字並びに利用者への虐待という不祥事案を除けば、特に大きな問題等が生じることなく、各種事業は経営理念及び経営方針に則り行われた。

1. 新型コロナウイルス感染症への対応等について

(1) 協会の対応（理事長通知等）

- ① 令和3年7月1日（東福協発第17号）「新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に係る特別休暇の取扱いについて」・・・感染防止対策に引き続き万全を期すこと及びワクチン接種の際の休暇の取扱いについて
- ② 令和3年7月13日（東福協発第22号）「緊急事態宣言（第4回目）を踏まえた感染予防対策の徹底について」・・・感染予防対策を基本とし創意工夫を行いながら事業の継続を図ること
- ③ 令和3年9月13日（東福協発第33号）「緊急事態宣言延長を踏まえた感染予防対策の徹底について」・・・クラスターが発生する等の事態にならないよう感染予防対策に万全を期すこと
- ④ 令和3年5月20日（事務局長通知）「新型コロナウイルス感染予防対策に係る注意喚起について」・・・保育所や高齢者施設でのクラスター発生の報道を踏まえ、引き続き感染予防対策を徹底すること

(2) 臨時休園・休業

7月以降には、保育園、母子生活支援施設、高齢者施設、学童クラブで、園児、保護者、児童、利用者及び職員において感染が確認された。保育園では全面的な臨時休園あるいは年齢別クラス単位による休園する事態となり、園長及び職員は保健所・行政・保護者との連絡調整に全力で取り組んだ。ま

た、通所事業利用者に感染が確認されたため 2 デイサービス事業所において臨時休業となった。(次ページ参照)

3 母子生活支援施設においては、数件の利用者家族及び職員の感染があったものの、きめ細やかな利用者への生活支援を実施するとともに勤務ローテーションを工夫することにより、他の利用者等への広がり等を生じることなく支援の継続を行うことができた。

2 特別養護老人ホームにおいても職員の感染等があったが、幸いにも特養利用者への感染はなかった。

(3) 協会施設間での支援

赤羽北のぞみ保育園では、給食職員の感染により他の給食職員が皆自宅待機となった。給食については、乳幼児用給食(宅配)サービス業者へ依頼したが、個々に対応が必要な離乳食・アレルギー食については協会内で支援することとし、王子及び方南の職員を派遣し当該調理を担当した。期間は、8月16日から20日までの5日間と9月13日から17日までの5日間の計10日間であった。

2. 法人内会議等

(1) 本部幹部会議；原則毎週月曜日午後、36回開催(うちリモート開催1回)

当該会議においては、法人運営全般、理事会・評議員会、各施設の事業実施状況、各検討会、利用者からの苦情、感染症予防対策、危機管理、法令遵守、施設利用者の事故、労働安全衛生、人材確保、虐待、新型コロナウイルス感染症等々を議題とした。

(2) 施設長会議；原則毎月の第一月曜日午後、9回開催(うちリモート開催2回)

理事長、常務理事、各施設長、法人本部幹部職員により施設長会議を開催した。緊急事態宣言期間中は開催を中止することもあった。

当該会議においては、理事会・評議員会の議案、各施設の事業実施状況、各検討会の進捗状況、苦情解決への取り組み、感染症予防対策、危機管理、法令遵守、施設利用者の事故、労働安全衛生、人材確保、虐待、新型コロナウイルス感染症等々について議論や報告が行われた。

月 日	曜日	東京都感 染者数	臨時休園となった保育園・デイサービス									
略												
7月2日	金	660	尾久臨 時休園									
7月3日	土	716										
7月4日	日	518										
7月5日	月	342										
中略												
7月30日	金	3,300	王子臨 時休園									
7月31日	土	4,058										
8月1日	日	3,058										
8月2日	月	2,195										
8月3日	火	3,709										
8月4日	水	4,166										
8月5日	木	5,042										
8月6日	金	4,515										
8月7日	土	4,566		八王子臨 時休園								
8月8日	日	4,066										
8月9日	月	2,884										
8月10日	火	2,612			のぞみ 臨時休 園							
8月11日	水	4,200										
8月12日	木	4,989										
8月13日	金	5,773										
8月14日	土	5,094										
8月15日	日	4,295										
8月16日	月	2,962										
8月17日	火	4,377										
8月18日	水	5,386										
8月19日	木	5,534										
8月20日	金	5,405										
中略												
9月21日	火	253	のぞみ 臨時休 園									
9月22日	水	537										
9月23日	木	531										
9月24日	金	235										
中略												
1月12日	水	2,198	十条臨 時休園									
1月13日	木	3,124										
1月14日	金	4,051										
1月15日	土	4,561										
1月16日	日	4,172										
1月17日	月	3,719										
1月18日	火	5,185		尾久「星 組」 (3・ 4・5歳 児約60 名)臨時 休園								
1月19日	水	7,377			方南2 歳児臨 時休園	方南5 歳児臨 時休園						
1月20日	木	8,638					方南5歳 児臨時休 園					
1月21日	金	9,699						汐入2 歳児臨 時休園				
1月22日	土	11,227							王子臨 時休園			
1月23日	日	9,468										
1月24日	月	8,503										
1月25日	火	12,813										
1月26日	水	14,086										
1月27日	木	16,538										
1月28日	金	17,631										
1月29日	土	17,433										
1月30日	日	15,895										
1月31日	月	11,751										
2月1日	火	14,445										
2月2日	水	21,576										
2月3日	木	20,679	十条休園									

※令和3年4月1日～7月1日の間は休園等の施設はなかった

※3回目の緊急事態宣言4/25から6/20日まで、4回目の緊急事態宣言7/12から8/31日まで

月日	曜日	東京都感染者数	臨時休園となった保育園・デイサービス																	
2月4日	金	19,798	十条臨時休園	王子5歳児臨時休園																
2月5日	土	21,122			王子4歳児臨時休園															
2月6日	日	17,526																		
2月7日	月	12,211																		
2月8日	火	17,113	十条3歳児臨時休園																	
2月9日	水	18,287																		
2月10日	木	18,891																		
2月11日	金	18,660																		
2月12日	土	11,765																		
2月13日	日	13,074																		
2月14日	月	10,334																		
2月15日	火	15,525	さくら荘デイ臨時休業																	
2月16日	水	17,331																		
2月17日	木	17,864																		
2月18日	金	16,129																		
2月19日	土	13,516																		
2月20日	日	12,935																		
2月21日	月	8,805																		
2月22日	火	11,443																		
2月23日	水	14,567																		
2月24日	木	10,169	尾久2歳児臨時休園																	
2月25日	金	11,125																		
2月26日	土	11,562																		
2月27日	日	10,321																		
2月28日	月	9,632																		
3月1日	火	11,813																		
3月2日	水	12,693																		
3月3日	木	12,251	十条2歳児臨時休園																	
3月4日	金	10,517																		
3月5日	土	10,806																		
3月6日	日	9,289																		
3月7日	月	5,374	十条1歳児臨時休園																	
3月8日	火	8,925																		
3月9日	水	10,823																		
3月10日	木	10,080																		
3月11日	金	8,464																		
3月12日	土	9,164																		
3月13日	日	8,131	尾久0歳児臨時休園																	
3月14日	月	4,836																		
3月15日	火	7,836																		
3月16日	水	10,221																		
3月17日	木	8,461																		
3月18日	金	7,825	方南2歳児																	
3月19日	土	7,444																		
3月20日	日	6,502																		
3月21日	月	3,855																		
3月22日	火	3,533																		
3月23日	水	6,430																		
3月24日	木	8,875																		
3月25日	金	7,289																		
3月26日	土	7,440																		
3月27日	日	7,844																		
3月28日	月	4,544	のぞみ2歳児																	
3月29日	火	7,846																		
3月30日	水	9,520																		
3月31日	木	8,226																		

※まん延防止等重点措置 1/21~3/21、感染のピーク；2月2日（水）21,576人

(3) 事業部会

令和3年度後期から新たに施設長会議の下に設けた各事業部会では、理事長・常務理事・本部職員・施設長（施設担当職員）により次のとおり課題の抽出及びその検討等が行われた。

※令和4年2月以降は、「まん延防止等重点措置」のため休止中

①保育部会（四半期ごと）

11月1日に開催、内容；①研修・採用、②工夫をこらした保育、③外国人の園児・保護者対応に苦慮、④定員割れ等について、各施設の現状や課題等についてフリートーキングを行った。

②母子・学童部会（四半期ごと）

10月25日開催、内容；①採用難、②処遇のICT化（統一ソフトの導入）、③民営化の懸念等、各施設の現状や課題等についてフリートーキングを行った。

③高齢者事業部会—特養部会及び通所部会（毎月）

内容；㉞介護報酬の現況と分析、㉟加算内容の現況と分析、㊱損益分岐点の分析、㊲人件費の現況、㊳人員配置体制の分析、㊴人材確保、㊵支出項目の分析等を行い、各施設の現状把握、課題の抽出、改善等の取り組みを行った。

④高齢者事業部会—訪問介護・居宅介護支援部会及び地域包括・シルバーピア部会（四半期ごと）

10月18日及び11月29日にそれぞれ開催、内容；㉞介護報酬の現況と分析、㉟加算内容の現況と分析、㊱人材確保、㊲PR等、各施設の現状や課題等についてフリートーキングを行った。

(4) プロジェクトチーム

①人材確保対策PT（11月16日、12月14日、1月18日）

構成；常務理事、本部職員、王子保育園園長、浮間ハイマート施設長、長寿園施設長、赤羽北さくら荘副施設長

内容；㉞障害者雇用対策、㉟専門職の確保方策、㊱外国人雇用対策、㊲本部、施設等の役割（研修体系の実践等を含めて）、㊳取組み及びPRについて、のうち㉞、㉟、㊲について課題の抽出等を行った。特に障害者雇用については、PTの意見を踏まえて、早速、3月7日に施設長及び主任

に向けた研修を実施した。

研修内容は、テーマ；「障害者の就労等について」、講師；堀江美里氏（NPO 法人「WEL'S」理事（就業・生活支援センターWEL'S TOKYO センター長兼主任定着支援担当））

②本部機能改革 PT（12月24日）

構成；本部職員、上十条南保育園長、ハイツ尾竹施設長、赤羽北さくら荘施設長

内容；㊦本部に対する要望等（危機管理（自然災害等）、リスク管理（事故防止等）、人事管理、会計経理、理事長宛決裁文書等、本部への定例の報告文書等、ICT化に関する事）、㊧会計経理・給与事務についての現状、㊨現状の本部と施設が行っている業務に関する意見等、について課題を抽出し取りまとめることとした。

3. 規程の改正等

(1) 高齢者施設の運営規程の改正

令和3年4月の介護報酬改定に基き各介護保険サービス事業の運営規程の料金表の改正を行った。（理事会承認6月14日、評議員会承認6月29日、4月1日適用）

(2) 「保育所及び母子生活支援施設処遇改善手当支給要綱」並びに「高齢施設処遇改善手当支給要綱」の改正

平成30年4月からの保育士等処遇改善加算制度により、新たに副主任手当4万円等が創設されたことで、従前に比べ管理職、主任、副主任の手当額の間差が縮小し、主任や管理職に昇任した際に給与のアップ額が小額となっていたため、処遇改善管理職手当及び処遇改善主任手当等について職責に応じた手当とする改善（月額5,000～10,000円の改善）を行った。（理事会承認6月14日、評議員会承認6月29日、令和3年4月1日適用）

(3) 赤羽北さくら荘運営規程の改正

令和3年4月の介護報酬改定の際、北区においては北区総合事業（独自サービス）の料金改定を半年延期し、令和3年10月1日から適用することとしたので、北区総合事業に係る赤羽北さくら荘（デイサービス及びホームヘルプサービス）運営規程の料金表の改正を行った。（理事会承認11月15日）

日、評議員会承認 11 月 25 日、令和 3 年 10 月 1 日適用)

(4) 長寿園運営規程の改正

令和 3 年度の介護報酬改定により、①感染症対策の強化について、②事業継続に向けた取組の強化について、③ハラスメント対策の強化について、④高齢者虐待防止の推進について、⑤認知症への対応力向上に向けた取組の推進について、⑥災害への地域と連携した対応の強化についての 6 項目が新たに運営規程に規定するよう定められた。

長寿園においては、職員による利用者への虐待不祥事案により、八王子市へ改善状況報告を行い、この中で上記①～⑥を整理した運営規程改正を行うこととした。(理事会承認 3 月 16 日、評議員会承認 3 月 25 日、令和 4 年 4 月 1 日施行)

(5) 「保育所及び母子生活支援施設処遇改善手当支給要綱」並びに「高齢施設処遇改善手当支給要綱」の改正

「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」(令和 3 年 11 月 19 日 閣議決定) を基に各処遇改善事業実施要綱が定められ、これら要綱に基き処遇改善手当の改善(月額; ①保育所職員 7,500 円、②母子生活支援施設職員 9,500 円、③学童クラブ職員 11,000 円、④特養・訪問介護の介護職員 7,500 円、⑤特養・デイサービスの直接処遇職員 4,500 円、⑥その他の職員 2,500 円) を行った。(理事会承認 3 月 16 日、評議員会承認 3 月 25 日、令和 4 年 4 月 1 日施行)

4. 高齢者施設の利用状況及び長寿園の大規模修繕

- (1) 平成 24 年以降収支状況が厳しくなっている高齢者施設は、各施設とも目標稼働率の達成に向け稼働率の向上・改善に努めているものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり大変厳しい収支状況となった。上述の高齢者事業部会(特養部会及び通所部会)で、収支分析、稼働率の向上、介護報酬加算の取得、経費減に向けた検討を進め、収支健全化に向けたより具体的な取組の抽出と改善等を開始した。

長寿園（定員80）の稼働率等について

	平成			令和		
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
月初登録者数の平均（人）	78.8	76.0	78.7	78.8	73.7	71.0
稼働率（％）	90.5	90.2	95.0	95.4	87.3	85.7

赤羽北さくら荘（定員148）の稼働率等について

	平成		令和			
	平成29年 4月開設	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
月初登録者数の平均（人）		100.6	121.0	141.8	141.3	141.1
稼働率（％）	69.3	82.7	93.6	92.5	92.2	

※稼働率とは、定員に対する入院者を含まない利用者数の割合

デイサービスの稼働率について

	平成			令和		
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
さくら荘デイ	83.7	82.0	81.6	68.2	70.0	71.4
〃 認デイ	47.5	31.5	32.5	35.3	31.8	39.3
東日暮里デイ	62.6	59.1	58.8	55.7	58.8	59.2
〃 認デイ	23.8	31.7	56.4	58.9	47.1	52.5
長沼デイ	72.3	75.5	68.0	68.7	68.7	74.7
〃 認デイ	46.6	49.5	44.1	49.1	47.4	32.7

※稼働率とは、定員に対する利用者数の割合

(2) 長寿園の大規模修繕

昭和 56（1981）年建築の長寿園の建物・設備については、老朽化による不具合が顕在化し始めていたことから、今後も当面の間（15 年程度）は現在の建物を使用し続けることを前提に、専門家による調査を行った結果、業務運営に大きな支障を来す恐れのある設備・機器類の故障発生リスクが相当高いとされた。

この結果を受け3か年程度をかけて修繕を行う計画を立て、令和元(2019)年度から順次工事を進めてきたが、中でも緊急度が高くまた大規模な改修が必要となる工事については、令和2年度の八王子市の補助金制度を活用して実施することとした。

当初は単年度事業として令和2年度中の完成を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中で工事の遅れが避けられず、令和3年度に跨る複数年度事業としての変更承認を受けた上で、二度に亘る工期延長を経て令和3年9月末に完成した。

なお、工事期間中は入居者と工事業者の動線が重ならないようにするなど感染防止対策を徹底し、多床室1部屋（4床）を空床として工事を行った。

残る項目については、引き続き緊急度に応じて実施していく予定とした。

工事箇所	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度～
① 食事スペース	→			
② 自家発電機		→		
③ 給排水、給湯		→→→→		
④ 受変電設備		→→→→		
⑤ スプリンクラー		→→→→		
⑥ 外壁補修		→→→→		
⑦ 霊安室撤去、外構他		→→→→		
⑧ エレベーター				→→→→
⑨ 厨房				→→→→
⑩ 換気、送風機器				→→→→
⑪ 照明				→→→→
費用（千円）	49,140	14,150	241,203	令和4年度見込35,000
財源	市補助金		50,000	
	福祉医療機構借入		60,000	
	自己資金	49,140	14,150	131,203
補助金対象工事		当初見込額 236,446千円 工期延長などにより4,700千円の増		

5. 職員の懲戒処分

(1) 特別養護老人ホーム長寿園主任介護職員 A について

令和3年8月に長寿園から利用者への虐待疑い事案が報告され、職員等懲戒審査会の審査結果等を踏まえ、当該主任介護職員に対し、降職・降格とする処分を下した（令和3年11月1日付）。

当該施設は発覚とともに八王子市に通報し、同市は9月10日に事実確認調査を実施、10月には文書指摘を受理、11月に市へ改善計画書を提出した。

当該改善計画書の内容

1. 事案の概要
2. 要因分析と対応の方向性
 - (1) 高齢者虐待に対する不見識
 - (2) 職員の意識改革
 - (3) 高齢者虐待防止マニュアルの作成
 - (4) 虐待防止に対する会議の活性化と通報窓口として機能強化
 - (5) 虐待の芽となるような不適切ケアの理解と撲滅
 - (6) ヒヤリハット・事故報告の基準
 - (7) 介護技術を学ぶ機会の確保
 - (8) 職員の育成体制
 - (9) 法令遵守（コンプライアンス）と内部牽制の確立
 - (10) 職員のストレス把握
 - (11) 外部に開かれた施設
3. 課題整理、再発防止策とスケジュール
上記2におけるスケジュール等について
4. 改善計画の進捗管理
毎月開催している幹部職員連絡会議において確認し、その結果を全職員で共有するなど、組織全体での進捗管理を徹底する。
5. 法人としての取り組み
 - (1) 「10 の取組方針」の樹立
 - (2) 専門家による事業検証

長寿園主任介護職員 A は令和 3 年 12 月末付で退職した。

(2) 特別養護老人ホーム長寿園主任介護職員 B 及び非常勤介護職員 C について

上記(1)の発覚から利用者及び職員から聞き取り等の周辺調査を徹底し実施した結果、11月に長寿園から主任介護職員 B 及び非常勤介護職員 C の利用者への虐待疑い事案が報告され、直ちに職員等懲戒審査会を行い以下の処分を下した（令和 4 年 1 月 14 日付）。

主任介護職員 B については、降職・降格とする処分を下した。同職員は同日付退職した。

非常勤職員 C については、令和 3 年 12 月 31 日付で退職となり処分は無効となるが、利用者への虐待という重要事案に鑑み懲戒処分に該当したこ

とを施設長宛通知した。

なお、主任介護職員 B 及び非常勤介護職員 C による利用者への虐待についても八王子市に通報した。八王子市からは上述（1）の改善計画書に基づき改善を進めるよう口頭指導があった。

- (3) 当該不祥事案に係る利用者及びそのご家族の方々には、施設長から個別にお詫びを申し上げ、ご意見等を承り、全員からご理解をいただいた。
- (4) 長寿園においては、虐待事案を受けての八王子市に提出した改善計画書に基いた事業内容等の改善を着実に進めている。
- (5) 再発防止等について
 - ① 令和 3 年 10 月 25 日付理事長名による「10 の取組方針」を各施設長宛発出した。
 - ② 今後二度と虐待事案等を発生させないことを念頭に、再発防止と併せて虐待に係る職員への処分については、過去の前例等にとらわれず「懲戒解雇」を基本とする旨を 12 月 6 日の施設長会議において理事長から強く幹部職員に伝えた。

東京都福祉事業協会は、

「一人ひとりの幸せと安心のために」

を基本に、法人の「経営理念」及び「経営方針」並びに「経営目標」を掲げています。これらのことを実現し、ご利用者の皆様に対して提供する高齢者介護サービス等について、以下の「10」の視点に立って役員及び職員一同が一丸となって取り組んでいくことをここに「宣言」します。

【10の取組方針】

- I 虐待や身体拘束等の無い介護サービスを提供します
- II 適切な認知症ケアを実践します
- III 新しく優れた介護技術等を積極的に取り入れていきます
- IV 専門家の客観的な視点からの介護サービス等の改善策の提案、それを受けての実践とその後の評価を行います
- V 介護技術・手法の習得により、防げる転倒、骨折等を起こさないようにします
- VI 感染症対策等更なる衛生管理の向上に努めます
- VII 利用者本位の相談体制の構築に努めます
- VIII より選ばれる施設サービス、特色ある介護サービスへ転換していきます
- IX 職員の人材育成とキャリアアップを図ります
- X 施設、事業所、法人本部が一体となって行動します

令和3年10月

社会福祉法人 東京都福祉事業協会理事長 藤崎 誠一
役職員一同

- ③ 高齢者介護に関する専門家（臼井正樹氏；現介護福祉士試験委員長・神奈川県立保健福祉大学名誉教授と峯尾武巳氏；現介護福祉士試験副委員長・元神奈川県立保健福祉大学教授）に客観的な視点に基づく事業検証を依頼し、長寿園及び赤羽北さくら荘で聞き取り調査等を行い、両施設の課題等について令和4年1月に報告があった。

【事業検証報告の主な内容】

- 研修の充実・強化について（㊦人権研修の必要性、㊧介護技術、介護能力の向上への研修）
- 各種研修等の改善に向けた取り組みの留意点（㊦サーバント・リーダーシップ（強いリーダーシップで組織を引っ張るのではなく、リーダーは組織のメンバーと時間をかけて丁寧に、よい関係性を構築・維持しながら組織の目指す方向性を形成していくこと）の活用、㊧風通しの良い運営）、を行うこと
- 長寿園・赤羽北さくら荘の置ける検討課題（㊦介護の基本・身体ケアモデルから認知症ケアモデルへ、㊧ユニットケアの目的・集団ケアから個別ケアへ、個別性の理解、㊨施設介護の目的・在宅での介護が難しくなった要介護高齢者をお預かりする介護施設から、その人の生活の継続を支援する介護施設への転換）
- 法人本部の役割と各事業所の関係の再構築

この報告に基き改善を進めるとともに、継続して改善後の点検・再改善へと取り組んでいる。

- ④ 3月7日には上記の臼井正樹氏が講師となり、テーマを「人権と福祉について」とする講義で法人内の全職員向けの研修会を開催した。当日は施設長及び主任が参加し、この講義はビデオにより協会の全職員が受講することとした。

- (5) 令和3年度第3回理事会（11月15日開催）及び同第2回評議員会（11月25日開催）において報告するとともに、同第5回理事会（3月16日開催）及び同第4回評議員会（3月25日開催）においても経過報告を行った。

6. コンプライアンスに係る検証

協会が法令並びに定款及び規則規程を遵守していることを確認・検証するため、各施設は10月1日付で「発令整理表」を作成・点検を行い、法令・規程等の適合及び適切な運用に努めることとした。

検証の結果、発令等の不備があった施設においては、速やかに発令等を行った。

また、指導検査等への対応に資することとした。

施設名

項目	根拠、資格等	理事長発令	施設長発令	職氏名	発令年月日
経理規程					
1 会計責任者	第8条第2項で規定	-	-	施設長	○ ○
2 契約担当者	第64条	○	/	施設長	○ ○
3 出納職員	第8条第4項	○	/	事務員	○ ○
セクシャルハラスメント防止規程・パワーハラスメント防止規程					
1 苦情相談員	セクハラ防止規程第4条	/	○		
1 相談窓口担当者	パワハラ防止規程第5条 (それぞれ2名以上(男	/	○		
苦情解決要綱					
1 苦情解決責任者	実施要綱3で規定	-	-		
2 苦情受付担当者		/	○		
コンピューター等取扱規程					
1 コンピューター管理責任者	第5条	/	○		
個人情報保護規程					
1 個人情報保護管理責任者	第10条第2項で規定	-	-		
特定個人情報取扱規程					
1 事務取扱責任者	第10条で規定	-	-		
2 事務取扱担当者	第10条	-	○		
防災					
1 防火管理者	消防法第8条、講習修了者	/	○		
労働安全衛生					
1 衛生管理者(職員数50人以上の事業場)	労働安全衛生法第12条、第二種衛生管理者免許の試験合格を要する	/	○		
2 産業医(職員数50人以上の事業場)	労働安全衛生法第13条、厚生労働大臣が定める産業医研修の修了者等	/	○雇入通知書		
給食					
1 食品衛生責任者	食品衛生法施行条例第2条、栄養士等	/	○		
法令遵守規程、介護保険法第115条の32第1項、介護保険法施行規則第140条の40					
1 法令遵守責任者	法令遵守規程第2条で規定	-	-		
介護保険					
1 管理者(特養、ショート、デイ、地域包括、訪問介護)	該当基準	○	/		
2 認知症型通所介護事業管理者	該当基準、厚生労働大臣が定める研修の修了者	/	○		
3 介護予防支援事業管理者	各(地域包括)委託契約、該当事業基準、介護支援専門員	/	○		
4 介護予防支援事業管理者	各(地域包括)委託契約、該当事業基準、介護支援専門員	/	○		
5 居宅介護支援事業管理者	該当基準、介護支援専門員	/	○		
6 通所介護、認知症型通所介護で各事業で1ずつ配置されている生活相談員が公休日等々ときの介護職員の生活相談員兼務発令	該当基準	○	/		
7 通所介護、認知症型通所介護で各事業を兼務するときの兼務発令	該当基準	/	○		
8 サービス提供責任者(訪問介護)	該当基準、介護福祉士等	/	○		
9 感染症対策担当者	基準について第4の12(3)	/	○		
10 褥瘡予防対策担当者	同 第4の4(5)㊦	/	○		
11 看取看護担当者					
12 安全対策担当者	同 第4の17(3)	/	○		
運営規程					
1 施設長の職務代	第4条第1項第1号で規定	-	○		
道路交通法					
1 安全運転管理者	第74条の3第1項(自動車5台以上を使用し1名選任)	-	○		

7. 法人主催職員研修会

職員の資質向上に資するため、法人本部による新規採用職員研修、中堅職員研修及び管理職研修を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により以下の開催に留まった。各施設においては適宜施設内研修及びWEB研修等を行った。

全体研修会

- ① 日時 令和4年3月7日（月） 13時15分～
- ② 場所 北とびあ902会議室
- ③ 「人権と福祉について」
講師 臼井 正樹 氏 神奈川県立保健福祉大学名誉教授
※ビデオにより全職員が受講することとした。
- ④ 「障害者の就労等について」
講師 堀江 美里 氏 NPO法人「WEL'S」理事（就業・生活支援センターWEL'S TOKYO センター長兼主任定着支援担当）
※ビデオにより関係職員全てが受講することとした。

8. 労働安全衛生

衛生委員会・職員会議等において労働災害の予防について議題とする等労働安全衛生の強化に取り組むこととしており、本年度の発生は16件であった。

労災発生状況（件数）

区分	3年度	2年度	元年度	30年度	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度
休業4日以上	1	4	4	2	3	1	2	1	1
休業1～3日			5				3		
休業なし労災	15	12	12	11	7	9	11	7	4
計	16	16	21	13	10	10	16	8	5

災害発生原因の分布（平成25年度～令和3年度）については、①ぶつける・当たる29%、②転倒24%、③自転車17%、④腰痛13%、⑤その他18%となっている。

また、メンタルヘルス不調を未然に防止する「一次予防」を目的とし、全施設でストレスチェックを実施（528名、常勤378名、非常勤150名）した。高ストレス者と選定され医師の面接指導を受けた職員は2名であった。

ストレスチェック実施状況 (単位：人)

区分	3年度	2年度	元年度	30年度	29年度	28年度
受検者数	528	562	562	550	546	344
内訳	常勤	378	393	388	392	320
	非常勤	150	169	174	158	24
医師の面接指導	2	2	1	3	1	3

9. 苦情解決への取り組み

利用者サービスの向上に資するため、利用者からの苦情等は施設内だけでなく法人本部や第三者委員においても聴取することとなっている。令和3年度においては本部または第三者委員が受け付けた案件は0件であった。

職員が利用者等から受けた苦情、意見、提案、要望、不満等については、3月に書面により第三者委員に報告を行った。

なお、苦情内容の主なものについては、協会ホームページに掲載することとしている。

10. 協会機関誌「ひだまり4号」の発刊

協会職員が各種の情報を共有するとともに、自分の勤務する施設のみならず協会全体を一体として感じることができるようになることを目的に、協会機関誌「ひだまり4号」を発刊（12月）した。

職員及び協会関係者等に配布するとともに、各施設窓口に置き保護者やご家族にもご一読いただくようにした。

11. 永年勤続表彰

職員永年勤続表彰は、30年勤続者1名、20年勤続者5名、10年勤続者13名について令和4年2月11日付で実施した。

12. 指定管理施設の指定期間等

母子生活支援施設浮間ハイマート（北区）については、令和3年度末に現

指定期間が満了となるため、事業の継続に向け指定申請（提案書類等の提出やプレゼンテーション）を行い、北区から次期指定期間について指定を受けた。

指定管理施設

	施設名	現指定期間	次期指定期間
1	汐入とちのき保育園	H31.4.1 ～ R6.3.31	R6.4.1 ～
2	上十条南保育園	H31.4.1 ～ R6.3.31	R6.4.1 ～
3	浮間ハイマート	H29.4.1 ～ R4.3.31	R4.4.1 ～
4	板橋区立母子生活支援施設	R3.4.1 ～ R8.3.31	R8.4.1 ～
5	東日暮里サービスセンター	H31.4.1 ～ R6.3.31	R6.4.1 ～
6	サービスセンター長沼	R3.4.1 ～ R8.3.31	R8.4.1 ～
学童クラブについては5年間の業務委託契約		H31.4.1 ～ R6.3.31	R6.4.1 ～

13. 東京都福祉サービス第三者評価の受審

各施設においては、利用者（保護者）への施設サービス内容の情報提供及びサービスの質の向上に資するため、東京都福祉サービス第三者評価の受審を行っている。本年度は以下の施設が第三者評価を受審した。

施設名	受審内容	期間
方南隣保館保育園	利用者調査及び事業評価	8 ～ 11 月
尾久隣保館保育園	利用者調査及び事業評価	11 ～ 3 月
八王子隣保館保育園	利用者調査及び事業評価	9 ～ 12 月
汐入とちのき保育園	利用者調査及び事業評価	1 ～ 3 月
ハイツ尾竹	利用者調査のみ	10 ～ 3 月
長寿園（特養）	利用者調査及び事業評価	8 ～ 3 月
赤羽北さくら荘（特養）	利用者調査及び事業評価	7 ～ 12 月

14. 指導検査

令和3年度においては、以下の6施設が各区市及び東京都の指導検査を受け、浮間ハイマートを除く5施設については文書による指摘はなかった。

浮間ハイマートについては、検査日において配置基準を充たしていない（4月15日付退職による用務員1名の欠員）として文書による指摘があった。

この欠員への対応として10月1日付での法人内異動が予定されていたことを踏まえ、7月1日より常勤的非常勤職員を雇用し改善を図った。

また、検査日当日にあった口頭による指導については、各施設において速やかに改善を図った。

施設名	検査日	検査機関
尾久隣保館保育園	9月16日	荒川区
八王子隣保館保育園	8月31日	八王子市
汐入とちのき保育園	10月8日	荒川区
ハイツ尾竹	3月11日	荒川区
浮間ハイマート	6月9日	東京都
サービスセンター長沼の全事業	9月17日	八王子市

15. 会計監査人による監査等

(1) 監査

(監査内容) 令和2年度計算関係書類の監査

(監査日) 令和3年6月2日(水)～6月4日(金)

法人本部での監査実施

(2) 指導等

法人本部のほか以下の施設に出向き経理状況等を点検・確認し、適正な会計処理についての指導等を行った(令和3年期中監査)。

① 拠点往査: 浮間ハイマート、赤羽北さくら荘、東日暮里サービスセンター(令和4年1月)、本部(令和4年3月)

② 新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みデータ(PDF、EXCEL等)による監査: 尾久隣保館保育園、上十条南保育園、長寿園(令和4年3月)

16. 監事監査の実施

(監査内容) 令和2年度事業の実施状況及び収支決算の状況

(監査日) 令和3年6月9日(水)

(理事会への報告) 令和3年6月14日(月)

(評議員会への報告) 令和3年6月29日(水)

17. 理事会の開催状況

理事会の開催	議 案 ・ 報 告	
第1回 令和3年6月14日	第1号 第2号 第3号 第4号 第5号 第6号 第7号 第8号 第9号 第10号 業務執行 状況報告	令和2年度事業報告及び収支決算について 新役員候補者について 新評議員候補者について 評議員選任・解任委員の選任について 会計監査人の再任及びその報酬等について 高齢者施設の運営規程の改正について 「保育所及び母子生活支援施設処遇改善手当支給要綱」並びに「高齢施設処遇改善手当支給要綱」の改正について 役員賠償責任保険について 施設長等の任免について 令和3年度定時評議員会の開催について 社会福祉充実計画について
第2回 令和3年6月29日	第1号 第2号 その他	理事長の選定について 常務理事の選定について 理事長の代決理事の指名について
第3回 令和3年11月15日	第1号 第2号 第3号 第4号 業務執行 状況報告	赤羽北さくら荘運営規程の改正について 上十条南保育園「人件費積立資産」の目的外使用について 赤羽北さくら荘に係る来年度給食業務委託契約の締結について 令和3年度第2回評議員会の開催について (1) 上半期の業務執行状況について (2) 東京都による浮間ハイマートへの指導検査文書指摘について
第4回 令和3年12月28日 (書面開催)	第1号 第2号	長寿園霊安室撤去に係る基本財産の処分について 令和3年度第3回評議員会の開催について

第5回 令和4年3月16日	第1号	令和3年度収支補正予算について
	第2号	令和4年度事業計画及び収支予算について
	第3号	社会福祉事業振興基金の使用について
	第4号	令和4年度資金運用計画について
	第5号	「保育所及び母子生活支援施設処遇改善手当支給要綱」並びに「高齢者施設処遇改善手当支給要綱」の改正について
	第6号	長寿園運営規程の改正について
	第7号	役員賠償責任保険について
	第8号	苦情解決制度第三者委員の選任について
	第9号	施設長の任免について
	第10号	令和3年度第4回評議員会の開催について
	業務執行 状況報告	下半期の事業執行状況等について

18. 評議員会の開催状況

評議員会の開催	議 案 ・ 報 告
定時 令和3年6月29日	第1号 令和2年度事業報告及び収支決算について
	第2号 理事・監事の選任について
	第3号 高齢者施設の運営規程の改正について
	第4号 「保育所及び母子生活支援施設処遇改善手当支給要綱」並びに「高齢者施設処遇改善手当支給要綱」の改正について
	業務執行 (1) 社会福祉充実計画について
	状況報告 (2) 会計監査人の再任について
	第2回 令和3年11月25日
	執行状況 上半期の業務執行状況について
	報告
第3回 令和4年1月20日 (書面開催)	長寿園霊安室撤去に係る基本財産の処分について
第4回 令和4年3月25日	第1号 令和3年度収支補正予算について
	第2号 令和4年度事業計画及び収支予算について
	第3号 「保育所及び母子生活支援施設処遇改善手当支給要綱」並びに「高齢者施設処遇改善手当支給要綱」の改正につ

	いて
第4号	長寿園運営規程の改正について
第5号	苦情解決制度第三者委員の選任について
執行状況	(1) 下半期の事業活動について
報告	(2) 社会福祉事業振興基金の使用について

19. 施設・事業・職員

施設種類別の事業の結果は以下のとおりであり、各施設の個別具体的な運営状況については、各施設の事業報告のとおりである。

(1) 保育所

施設利用状況

施設名	認可定員	現員	利用率	備考
王子隣保館保育園	110人	118.9人	108.1%	直営施設
方南隣保館保育園	130人	131.9人	101.5%	//
尾久隣保館保育園	190人	179.7人	94.5%	//
八王子隣保館保育園	80人	80.6人	100.8%	//
汐入とちのき保育園	110人	115.4人	104.9%	指定管理
上十条南保育園	110人	111.1人	101.0%	//
赤羽北のぞみ保育園	100人	101.4人	104.5%	直営施設
合計	830人	838.7人	101.0%	

注：現員は、令和3年度月初在籍者数の平均

(2) 母子生活支援施設

施設利用状況

施設名	定員	利用現員	備考
ハイツ尾竹	20世帯・64人	13.7世帯・33.1人	直営施設
浮間ハイマート	24世帯・72人	7.7世帯・20.3人	指定管理
板橋区立母子生活支援施設	20世帯・60人	14.7世帯・36.0人	//
合計	64世帯・196人	36.1世帯・89.4人	

注：利用現員は、令和3年度平均

(3) 高齢者福祉施設

①特別養護老人ホームの施設利用状況

施設名		定員	利用現員	備考
長寿園		80人	68.6人	直営施設
同 ショートステイ		2人	0.0人	
赤羽北さくら荘		148人	136.5人	
同 ショートステイ		12人	13.4人	
合計	特養	228人	205.1人	
	ショートステイ	14人	13.4人	

注：利用現員は、令和3年度平均（入院を除く）

②デイサービスの施設利用状況

施設名	定員	現員	備考
赤羽北さくら荘デイサービスセンター			特別養護老人ホーム 赤羽北さくら荘に併設 (直営)
通所介護	35人	25.0人	
認知症型通所介護	12人	4.7人	
東日暮里在宅高齢者通所サービスセンター			単独施設 (指定管理)
通所介護	40人	23.7人	
認知症型通所介護	12人	6.3人	
高齢者在宅サービスセンター長沼			単独施設 (指定管理)
通所介護	35人	26.1人	
認知症型通所介護	12人	3.9人	

注：現員は令和3年度平均利用者数

③地域包括支援センターの施設利用概要（受託）

施設名	業務内容	予防プラン	備考
浮間地域包括支援センター	担当地域内居住者で在宅で介護を必要とする者又はその家族等に対し各種相談に対応、諸機関とのネットワークづくり、権利擁護等	3,140件	
赤羽北地域包括支援センター		2,141件	
地域包括支援センター長沼		3,810件	サービスセンター長沼内に併設

注：予防プランは令和3年度プラン作成延数

④居宅介護支援の施設状況（直営）

施設名	プラン作成件数
赤羽北さくら荘ケアプランセンター	1,284 件
指定居宅介護支援事業所 長沼	1,180 件

注：プラン作成件数は令和 3 年度プラン作成延数

⑤訪問介護の利用状況（直営）

施設名	区分	年間延利用者数	年間延サービス回数
赤羽北さくら荘 ヘルパーステーション	要支援	3,138 人	3,138 回
	要介護	5,913 人	6,226 回

⑥シルバーピア生活援助員配置の施設利用状況（受託）

施設名	区分	平均
シルバーピア赤羽北（定員 75 名）	入居者数（月初）	71.4 人

(4) 放課後児童健全育成事業の施設利用状況（受託）

施設名	登録定員	利用現員	備考
三日小学童クラブ	70 人	47.4 人	荒川区立第三日暮里小学校内
にこにこすくーる	—	17.5 人	

注：利用現員は令和 3 年度の平均利用者数

(5) 職員の配置状況（令和4年3月31日現在）

組織名	事業名等 (指)＝指定管理、(委)＝委託	常勤職員数	非常勤職員数		職員総数							
			実数	常勤換算	実数	常勤換算						
本部事務局	-	4	1	0.5	5	4.5						
保育所	王子隣保館保育園	保育所	27	23	12.0	50	39.0					
	方南隣保館保育園	〃	31	10	4.9	41	35.9					
	尾久隣保館保育園	〃	35	19	11.5	54	46.5					
	八王子隣保館保育園	〃	18	11	8.1	29	26.1					
	汐入とちのき保育園	〃 (指)	26	24	10.4	50	36.4					
	上十条南保育園	〃 (〃)	24	17	12.7	41	36.7					
	赤羽北のぞみ保育園	〃	26	15	7.7	41	33.7					
	小計	-	187	119	67.3	306	254.3					
母子	ハイツ尾竹	母子生活支援施設 ショートステイ(委)	13	4	1.7	17	14.7					
	浮間ハイマート	母子生活支援施設(指)	8	4	1.1	12	9.1					
	カーサはるにれ	〃 (〃)	8	4	2.2	12	10.2					
	小計 {ショートステイ(利用者部分)を除く}	-	29	12	5.0	41	34.0					
高齢者等	長寿園	特養	35	24	11.1	59	46.1					
		短期入所生活介護										
	赤羽北さくら荘	特養	81	22	12.5	103	93.5					
		短期入所生活介護										
		通所介護(認知症型含む)						8	14	12.5	22	20.5
		地域包括(浮間・赤羽北)(委)						10	7	5.0	17	15.0
		訪問介護						2	17	4.4	19	6.4
		居宅介護支援						4	0	0.0	4	4.0
	シルバーピアLSA(委)	2	1	1.0	3	3.0						
	東日暮里SC	通所介護(認知症型含む)(指)	9	22	13.1	31	22.1					
		放課後児童健全育成(学童クラブ)(委)										
		にこにこスクール(委)						4	12	3.8	16	7.8
	SC長沼	通所介護(認知症型含む)(指)	8	31	18.3	39	26.3					
地域包括支援センター(委)		6						4	3.2	10	9.2	
居宅介護支援		3						0	0.0	3	3.0	
小計	-	172	154	84.9	326	256.9						
計	-	392	286	157.7	678	549.7						

- ①常勤職員の平均年齢 40.8 歳
- ②常勤職員の平均勤続年数 8.5 年
- ③非常勤職員の平均年齢 38.3 歳
- ④非常勤職員の平均勤続年数 5.7 年

(6) 常勤職員の採用・退職状況

① 採用

	保育所	母子施設	高齢者施設等	計
3年度採用数	17	4	13	34
うち新規学卒	4	0	3	7
平均年齢	32.1	43.3	35.2	33.9

② 過去5年間の採用

		保育所	母子施設	高齢者施設等	計
2 年 度	採用数	21	8	13	42
	うち新規学卒	6	1	0	7
	平均年齢	32.5	44.0	43.6	38.1
元 年 度	採用数	31	3	23	57
	うち新規学卒	12	0	1	13
	平均年齢	30.7	26.7	34.1	31.9
30 年 度	採用数	34	3	22	59
	うち新規学卒	18	0	1	19
	平均年齢	29.3	39.7	39.0	33.4
29 年 度	採用数	34	3	41	78
	うち新規学卒	14	1	1	16
	平均年齢	30.7	26.3	41.2	36.1
28 年 度	採用数	21	2	34	57
	うち新規学卒	6	0	1	7
	平均年齢	32.1	57.5	40.5	38

③ 退職

	保育所	母子施設	高齢者施設等	計
3年度退職数	20	6	16	42
平均勤続年数	5.5	3.7	6.2	5.5
平均年齢	39.9	34.8	45.6	37.4
離職率 (%)	10.5	20.0	8.7	10.4

(「離職率 (%)」 = 「当年度内の離職者数 ÷ 当年度 4 月 1 日在籍者数 × 100」)

(定年退職者なし)

④ 過去 5 年間の退職

		保育所	母子施設	高齢者施設等	計
2 年 度	退職数	21	5	8	34
	平均勤続年数	5.4	3.0	7.4	5.5
	平均年齢	32.6	52.4	40.5	37.4
	離職率 (%)	10.8	17.9	4.5	8.5
	(定年退職者なし)				
元 年 度	退職数	24	2	21	47
	平均勤続年数	7.6	4.5	6.2	6.8
	平均年齢	35.2	62.5	49.7	42.8
	離職率 (%)	12.2	6.9	11.7	11.6
	(定年退職者7名を含む)				
30 年 度	退職数	31	3	20	54
	平均勤続年数	5.3	3.3	5.1	5.1
	平均年齢	29.8	56.3	46.5	37.4
	離職率 (%)	15.5	11.5	11.8	13.5
	(定年退職者なし)				
29 年 度	退職数	23	1	14	38
	平均勤続年数	5.9	23.0	4.9	5.9
	平均年齢	31.3	45.0	45.3	36.8
	離職率 (%)	11.9	3.7	8.5	9.9
	(定年退職者1名を含む)				
28 年 度	退職数	19	2	11	32
	平均勤続年数	4.7	9	3.5	4.5
	平均年齢	32.8	50.5	42.1	37.1
	離職率 (%)	10.4	8.0	9.1	9.8
	(定年退職者1名を含む)				

(「離職率 (%)」 = 「当年度内の離職者数 ÷ 当年度 4 月 1 日在籍者数 × 100」)